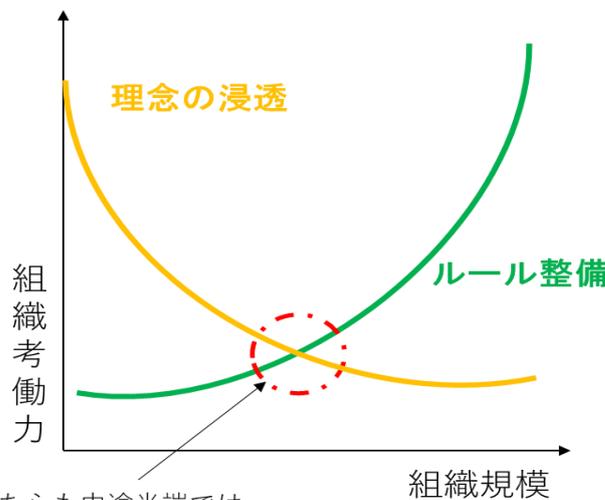
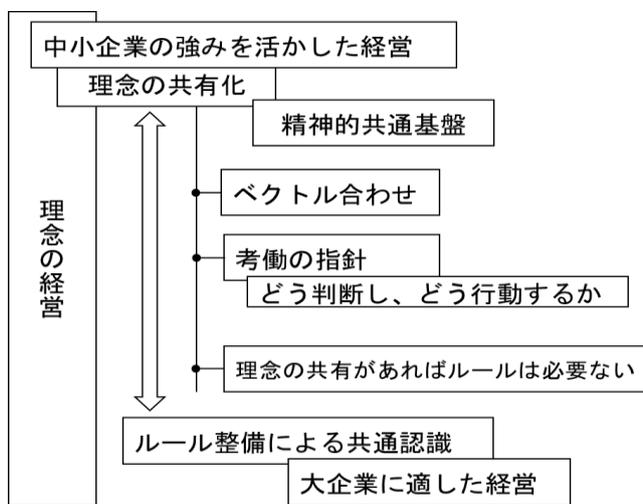


～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

◆理念の経営：中小企業の組織考働力の最大化

中小企業では理念の経営が組織運営の柱となる。中小企業の強みはトップのビジョンや理念をスムーズに全社員に伝えることである。厳密なルールを設けなくても、理念がしっかりと浸透していれば、自然とベクトル合わせができ、同じ目標に向かって力を発揮することができる。中小企業にとって、理念の浸透を図ることが強力な組織力を生み出すことになる。一方で、大企業の場合は理念を全社員に浸透させて、同じ方向に向かわせることが難しい。そのため、ルールを整備することで社員が共通の認識のもと行動できるようにする。

重要なことは、組織の規模や特性に応じて「理念浸透」と「ルール整備」のどちらかに重点を置くこと。どちらも中途半端な取り組みでは、組織考働力が十分に発揮されない。



◆西山語録①

「管理技術・経営技術を 身に付ける意義」



管理技術や経営技術を習得することは、物事を正確に見極める力を養うこと。その結果、今取り組むべきことや解決方法だけでなく、取り組む楽しさまで教えてくれる。

◆西山語録②「経験の密度を高める」

経験は一般的に時間と比例するものと見られる。しかし、急速に変化していく現代では、時間をかけた経験は陳腐化しやすく、活かすことが難しくなっている。経験の時間を短縮化する3つの方法がある。①「仮説を立てながら実行する」こと。未知の分野であっても実行と仮説の検証を同時並行で行うことで、経験の密度を高めることができる。②「他人の経験を貰う」こと。他人の知見や経験、すなわち知的財産を活用することで経験の幅や深さが豊かになる。③「観察する」こと。自分では経験できない、あるいは実践しない事柄であっても、他人の考働を観察し学ぶことによって、間接的に経験として積み上げることができる。この3つにおいて重要なことは、知的食欲を持っているかどうかである。自分から積極的に学び、他者の知見や経験を取り入れようとする姿勢が、経験の時間短縮と効果的な成長につながる。

《本年もご覧いただき、誠にありがとうございました！》

2024年も残すところあとわずかとなりました。今年も「情報てんこもり」をご覧いただき、誠にありがとうございました。来年もBSO活動の最新情報やBSOノウハウなど皆さまに少しでも役立つ情報をお届けいたします。引き続き、「情報てんこもり」をよろしくお願いたします！

詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ

情報てんこもりは、弊社の協働活動（受託事業・企画事業・出版事業）のタイムリーな情報をいち早く多くの方々に知っていただく為に発信しております。（お問い合わせはshienkikaku@bso.co.jpまで）